



令和4年度企業版ふるさと納税活用事業実績

<p>事業名</p>	<p>ひとづくりを軸とした持続可能な地域づくりプロジェクト (ひとづくり推進事業)</p>
<p>取組内容</p>	<p>【ひとづくり推進事業】</p> <p>①益田版カタリ場 小学生と高校生、中学生と大人による1対1の対話を通して、「これまでの人生と、これからどうありたいか」自分自身の生き方について考えることで、自分の「心に火を灯す」授業を実施した。</p> <p>②高校生期のライフキャリア教育（教育魅力化コーディネーターの配置） 高校と地域・企業・行政をつなぐコーディネーターを配置し、高校生の学校外での活動づくりを実施した。</p> <p>③JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 日本サッカー協会に所属する元アスリートや現役アスリートが自分の夢を実現するためにどんな事をしたか、また挫折や悩んだ時にどのようにその苦勞を乗り越えたかについて、オンラインを通じて小学生に伝える授業を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <p>【益田版カタリ場】</p> <p>【夢の教室】</p> </div>
<p>成果</p>	<p>【ひとづくり推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「益田市には魅力的な大人が多い」と答えた新成人の割合 目標：80% / 実績：93.5% ○益田市で地域活動をした県外の若者の延べ人数と満足度 目標：260人、80% / 実績：64人、80.0% ○「将来、益田に住みたい」と答えた新成人の割合 目標：80% / 実績：80.9% ○益田市で一週間程度、インターンシップや体験活動した若者の延べ人数と満足度 目標：30人、80% / 21人、100% ○ライフキャリア教育に関わる大人の数 目標：700人 / 実績3,972人 ○ライフキャリア教育に関わる市外の若者の数 目標：3人 / 実績：7人 <p>○その他、事業実績（定量的効果。（ ）内は前年度実績）。</p> <p>①益田版カタリ場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15（15）小学校、9（8）中学校、4（4）高校で実施 ・対話した延べ人数 1,502人（1,468人） <p>②高校生期のライフキャリア教育（教育魅力化コーディネーターの配置）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校での授業実施コマ数 182（83）コマ ・高校生の地域活動の伴走支援 25（43）プロジェクト <p>③JFAこころのプロジェクト「夢の教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校 9（10）校 ・児童数 272（257）名
<p>今後の事業展開</p>	<p>成果に記載している量的な指標はおおむね増加傾向にある。今後は、量的な指標は達成しつつも、事業の実施がいかにより子どもたちの生きる力の育成や、人材の還流、持続可能な地域づくりにつながったかという点に着目し、事業展開及び効果測定を図りたい。</p>

令和4年度企業版ふるさと納税活用事業実績

<p>事業名</p>	<p>益田市・まち・ひと・しごと創生推進事業 (市内高校連携推進事業)</p>
<p>取組内容</p>	<p>【市内4高校の特色を活かした高校魅力化の取組】</p> <p>①高度理数系人材育成支援業務委託 1) 「益高の学び体験」(中学生による益田高校での継続的な授業体験) 2) 理数系教育充実(益田高校実験室開放)</p> <p>②農業・モノづくり人材育成業務委託 1) GAP米(田植え・稲刈り)体験など「産業の魅力発信」 2) 「地産・地消の推進」を目的とした販売活動など 3) QQ栽培による検証実験(土壌分析)など「地域連携による技術実証及び技術活用」 4) 食品加工工場見学など「体験・交流による地元就職意識向上の取組」</p> <p>③私立高等学校魅力化活動補助金 益田市の私立高校には、約250名の県外生が在籍している。県外生を含む高校魅力化に資する下記事業を実施することで、卒業後も第2のふるさととして益田市と関わり続ける人材(関係人口)の確保につながった。</p> <p>(益田東高等学校) eスポーツ部創設を目的とした施設及び関係機器整備。 その他、認知度向上を目的とした以下の取組の実施。 1) 益田東高等学校文化祭において「eスポーツ大会」の開催 開催日: 令和4年9月30日(金) 2) 「益田東eスポーツDAY」の開催 開催日: 令和5年1月22日(日) 内容: ・全国高等学校eスポーツ連盟理事による「eスポーツの魅力」についての講和 ・小学生の部の開催(午前)/中学生の部の開催(午後)</p> <p>(明誠高等学校) ・益田市出身のデザイナー及び地域プロジェクトプランナーと協働し、益田市の食と文化の記録と発信を目的とした「まちと食卓vol2.5」を制作した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="357 1296 721 1572">  </div> <div data-bbox="769 1296 1257 1572">  </div> </div> <p>【①関連_益高の学び体験】 【②関連_はじめての菜園生活】</p> <p>【市内4高校の魅力を小中学生に発信する取組】</p> <p>①益田未来協働フェスタ2022の開催 令和4年7月8日(金) ・市内4高校魅力発信ブース・サイエンス工房 ・小学生サイエンスショー 令和4年7月9日(土) ・科学ポスター ・中高校生科学チャレンジ ・藪田ひかる氏講演会</p>

<p>成果</p>	<p>【市内4高校の特色を活かした高校魅力化の取組】 ①高度理数系人材育成支援業務委託 参加者： 1) 中学3年生133名（うち、市外23名） 2) 0人</p> <p>②農業・モノづくり人材育成業務委託 参加者： 1) 翔陽高校生100名／小中高生127名／ほか教員等12名 2) 翔陽高校生14名 3) 翔陽高校生88名／小中高生22名 4) 翔陽高校生62名／ほか教員等1名</p> <p>③私立高等学校魅力化活動補助金 （益田東高等学校） 1) 文化祭において「eスポーツ大会」の開催 参加者： 26名（1年生9名、2年生6名、3年生10名、教員1名、うち、県外生9名） 認知度向上・部員の拡大：12人 → 13人 2) 「益田東eスポーツDAY」の開催 参加者：77名（小学生60名、中学生17名） （明誠高等学校） 制作部数：1,500部 制作に関わった生徒数：29名（うち、県外生6名）</p> <p>【市内4高校の魅力を小中学生に発信する取組】 参加者：約1,000名（小学生276名、中学生12名、高校生624名）</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>小中一貫教育に接続する取組の一つとし、引き続き、市内の高校の魅力化に資する取組に支援を行うとともに、その取組を小中学生に発信することで、全ての子どもたちの卒業後の選択しを増やし、益田の未来を担う子どもたちの育成を図る。</p>